

全国国保地域医療学会へ参加！

in 和歌山県

令和7年10月3日・4日の2日間、和歌山県和歌山城ホールで第65回全国国保地域医療学会が開催され、当院の職員が研究成果を発表しました。

学会には当院のリハビリテーション科職員4人、看護部職員1人が参加しました。リハビリテーション科の3人がポスター発表を行い、発表後は参加者から質問もありました。また当院の名誉院長である高見徹医師も参加されました。

全国の国保診療施設の関係者が集まり、共通する課題や現状について意見交換できたことは大変重要で、今後の診療や取り組みの参考になりました。引き続き*国診協事業を通じて新しい知見を当院に取り入れられるよう活動していきます。

「*国診協」→全国国民健康保険診療施設協議会の略



発表メンバーと高見徹医師



■在宅療養者におけるペット飼育に関する諸問題と対応方法についての調査研究
▲リハビリテーション科長 田辺大起理学療法士



■療養病棟における転倒インシデントの可視化とリスクマネジメント
▲石井凌主任理学療法士（左）
【共同演者：山住拓郎理学療法士（右）】



■“全員がプロでなくても”支援が届く地域医療を目指して ～心不全療養支援のしくみ化～
▲安田春香理学療法士（左）
【共同演者：岡村歩夢看護師（右）】

年末年始
12/29～1/3

今年度の年末年始の休診日は右の通りとなります。

土日も含めると9日間の休診となります。休診中はご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

休診のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
12/21	22	23	24	25	26	27 休診
28	29	30	31	1/1	2	3
4 休診	5	6	7	8	9	10

※休診期間中も急な体調不良などがあれば対応いたしますので、ご相談ください。


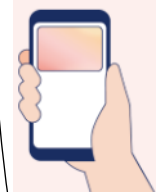
【電話】0859-82-1235（代表）

マイナンバー保険証の確認がスマートフォンでも可能に！

2025年9月19日よりマイナ保険証が、スマートフォンで利用できるようになりました。

当院でも、同日よりスマートフォンでの保険証確認ができるようになっております。

利用方法は窓口の職員にお問い合わせください。



https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_60802.html



厚生労働省：スマートフォンのマイナ保険証利用についてのページもございます。

【12月】病児・病後児保育の受け入れができない日

12月16日（火）、29～31日（年末）

※病院が休診の土・日・祝日は利用できません。

出前講座の募集

日南病院では、地域包括支援センターを通じて町民の皆様へ医療・保健に関する出前講座を行っています！

下記は当院の講座メニューの一例です。メニューにない内容もお気軽にご相談ください。

【申込先】日南町地域包括支援センター
電話：82-0374 FAX：82-1027

1. 認知症について

2. 自分らしい人生って何だろう？

3. フレイル予防と今日からできる！運動習慣のつけ方

4. 最近コケていませんか？リハビリでレッツ転倒予防！&心不全について

5. 病気と生活習慣

■職員募集■【募集職種】


・看護師
・介護福祉士

・診療放射線技師
・臨床検査技師

・看護補助者
・医療事務

・運転手

※随時募集している職種もございますので、詳しくは病院ホームページをご覧ください。→ → → →



■障がい者雇用のお知らせ■

日南病院では障害のある方の雇用希望者を募集しています。

ご本人の適性や希望を十分に考慮し、安心して働いていただけるよう、職場環境の整備にも努めています。

※詳しくは病院ホームページをご覧ください。


【仕事内容】

● 病院施設等の環境整備

● 病棟における介護業務
または、看護補助業務


【資格】

● 障がい者手帳をお持ちの方



巡回診療

12月17日(水)
[受付時間]
14時～15時30分
つるぎ会館(上萩山)
売店の出張販売もありますので、診察のない方もお越しください。





【目次】

・ まちづくり懇談会まとめ「みんなで話そう、わたしたちのまちと病院の未来」・・・2ページ


・ 第2回健康教室報告（10/10開催分）・・・3ページ


・ 休診などのお知らせ、スマートフォンでマイナ保険証確認、職員募集、12月の巡回診療、出前講座の募集・・・裏表紙


日南町国民健康保険
日南病院
〒689-5211
鳥取県日野郡日南町生山511-7
TEL：0859-82-1235
FAX：0859-82-1341
HP：<https://nichinan-hospital.jp/>




病院に対するご意見
ご要望、広報誌に対する
ご意見など、お待ち
しています。

入力フォーム

公式
LINE

公式
Facebook

公式
Instagram

第2回 健康教室は「STOP！脂肪肝」

第2回健康教室は「STOP！脂肪肝 ～健診はチャンス！簡単な運動で健康力アップ～」をテーマに行いました。

(令和7年10月10日開催)

- ① 【多久和看護師】健康診断や人間ドックの血液検査で肝機能の数値が標準値をはみ出すことがよくあります。脂肪は肝臓で作られますが、肝臓に脂肪が多たまっている状態を脂肪肝といいます。



- ② 【仲田薬剤師】サプリメントの服用や食べ過ぎ、運動不足などが肝臓に負担をかけ、お酒が原因ではない脂肪肝がたくさん存在します。また脂肪肝を治す特效薬はなく、生活習慣の改善が第一となります。



食べ過ぎ×



▲お尻の筋肉を鍛える運動
(足を横に上げ下げします)

- ③ 【中尾理学療法士】運動すると肝臓にたまった脂肪もエネルギーとして使われます。筋肉を動かすことで血糖値や中性脂肪が下がり、肝臓に脂肪がたまりにくくなります。雨の日や暑い日でも自宅でできる運動を紹介します。

参加して下さった皆さんと椅子に座ったままできる運動や、立って行う運動を実際に行いました。皆さんから「これくらいの運動でいいの?」「どうやるの?」と体の動かし方の確認をして、一緒にしてくださりありがとうございました。



▲座ったままできる腹筋運動
(腕で支えて膝を持ち上げます)



▲腕を交差してスクワット
(腰を落とします)

インフル・新型コロナワクチンの
助成期限は1月末まで!!

予約不要



令和7年度の予防接種

助成券をお持ちの皆さんへ

- (1) インフルエンザ予防接種(午前と火・水・金の午後)
(2) 新型コロナ予防接種(月・木の午後のみ)

高校生以上は予約不要ですが、曜日によって接種できるワクチンが変わりますので、ご注意ください!

小児科(中学生以下)の予防接種は完全予約制です。

肺炎球菌ワクチン
带状疱疹ワクチンなど
その他の予防接種も可能です!

予約必要

こちらのワクチンをご希望の方は、
予約が必要です。

電話: 0859-82-1235 (代表)

■年度内(3月末)で助成期限がくるワクチンもありますので、お早めにご予約ください!

みんなで話そう、わたしたちのまちと病院の未来

10月に各まち(むら)づくり懇談会で、日南病院の今後や地域医療のあり方について、多くの意見をいただき、ありがとうございました。主な内容を紹介します。

<病院の建て替え・場所について>

- ・建て替え時期を2年後に延期する理由や、候補地を白紙に戻した経緯を知りたいとの声もありました。
- ・建築費の高騰を踏まえ、早めの判断・着手を求める声が多くありました。
- ・「町長の任期中に結論を」「先延ばしにせず指針を示してほしい」との意見もありました。
- ・現在地以外の新たな候補地を検討する際の時期や進め方への質問もありました。



<病床数・診療体制について>

- ・病床は「診療所にして在宅医療を充実させてはどうか」「一般病床のみ30床でよい」「40~45床の内訳を知りたい」など、規模に関する意見がありました。
- ・「中途半端な病院にせず、産婦人科や小児科も含めて子育て世代に必要な医療を」との要望がありました。
- ・「療養病棟は介護施設への移行も検討を」といった意見もありました。



<医療連携・人材確保について>

- ・日野郡全体での医療・人事連携を進めるべきとの意見が多く寄せられました。
- ・「3町を統括する管理者を設け人事交流を活発に」「町独自の取り組みも大切」との声がありました。
- ・医師不足への不安も多く、「地域に愛着を持つ医療職の育成」「総合診療医の確保」に期待が寄せられました。
- ・「看護師不足等に対し、人材確保や働きやすい環境づくりを」との意見も出されました。

<財政と将来への不安>

- ・「財源や積立の見通しを示してほしい」「建築費の上昇にどう対応するのか」など、財政への関心が高い意見がありました。
- ・「借金してまで建て替える必要があるのか」「積立を増やすことで住民サービスが低下しないか」との懸念も出されました。
- ・一方で、「早めに決断して建設すべき」「将来への投資として必要」との意見もありました。

<住民サービス・地域づくり>

- ・「ショートステイの充実を」「在宅医療の支援が必要」との意見がありました。
- ・「節約ばかりでなく町の努力の姿勢を見せてほしい」「モチベーションを下げない運営を」との声もありました。
- ・「病院だけでなく、仕事や子育て、教育が一体となったまちづくりを」との提案も出されました。

<今後への期待と提案>

- ・「オンライン診療の活用」「公民館を拠点とした遠隔診療」など、ICTを活かした新しい医療体制の提案もありました。
- ・「病院建て替えよりもサービスの充実を」「診療所以外の健康づくり施設も検討を」との意見もありました。
- ・「住民も地域医療を支える一員として何ができるかを考えたい」という前向きな声もありました。

<まとめ>

今回の懇談会では、多くの皆さんから率直で温かいご意見をいただきました。「これからの地域医療をどう守るか」「どんな病院が必要か」・・・その答えは一つではありません。人口減少や医療人材の不足など、厳しい現実もありますが、日南町に必要な医療を守り続けるため、できる限りの努力をしていきます。皆さんからいただいた声は、これからの計画を進めるうえでの大切な指針です。安心して暮らせる地域医療の形を、県や西部圏域を含めた日野郡全体で話し合いながら、行政・医療機関・住民が力を合わせて築いていきたいと考えています。今後も計画や進捗を分かりやすくお伝えしながら、皆さんとともに「安心して暮らせる町の医療のかたち」をつくってまいります。